

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190100158		
法人名	株式会社 ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター鍋島		
所在地	佐賀県佐賀市鍋島3丁目14番21号		
自己評価作成日	平成30年2月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成30年3月20日	外部評価確定日	平成30年5月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

その人らしさを、どうぞいつまでも。「お客様のありのままを受け止め、生きてこられた大切な思い出と共に、その人らしく豊かに過ごして頂きたい。」経営母体である株式会社ニチイ学館の理念のもとで入居者様一人ひとりの尊厳を重んじた接遇で経営致します。
楽しいことがたくさんある毎日を、明るい笑顔で心が通う援助を致します。お客様が一人ひとり明るく楽しい生活が出来るようにケアスタッフが寄り添ってサポート致します。一緒に近所の買い物や散歩に出掛け、地域の人との会話や道端の小さな発見も楽しめます。季節の移ろいを体で感じることができ、近くの公園では桜や藤を春の陽気に包まれながら楽しむことができます。ホームの敷地内では菜園を設けており、野菜や花の成長を実際に育てながら楽しむことができます。折り紙、塗り絵、書道等の製作や、カラオケ、体操、ゲーム等は趣味や娯楽などを生かした生活リハビリとして行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

佐賀市郊外の利便性が高い環境の中に立地するグループホーム ニチイのほほえみは、2階建てで2棟が運営されている。近隣は新興住宅地で、大型スーパー、郵便局、学校、公園等があり、地域密着型として恵まれた環境である。この環境を利用してスーパーへ食材の買い物に行ったり、気候により公園まで花見に行くなど徒歩で日常的に戸外へ出かける機会を作っていることは、このホームの特色と言える。また医療のニーズに応えるため、協力病院からは24時間往診をしてもらうことができ、訪問看護との契約により入居者の健康管理が充実し、通院もホームで柔軟に対応している。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地)	自己評価／ユニットB(キララ)	外部評価	
			(事業所記入欄)	(事業所記入欄)	(評価機関記入欄)	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「社是」「経営理念」を掲示し毎日全員で唱和を行い共有している。また「社是」「経営理念」に則って日々の業務で実践している。	「社是」「経営理念」を掲示し毎日全員で唱和を行い共有している。また「社是」「経営理念」に則って日々の業務で実践している。	「社是」「経営理念」を基にホーム独自でも「明るく、笑顔で暮らせる生活を提供します。」と掲げている。毎月の会議の折に理念に基づくケアのあり方を職員が共有して実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	スーパーでの買い物や、散歩を通じて地域の方々と交流や挨拶をしたり、空き缶拾いや清掃を実施している。また地区の小学生との交流会を毎年行い、ふれあいの時間として大切にしている。	スーパーでの買い物や、散歩を通じて地域の方々と交流や挨拶をしたり、空き缶拾いや清掃を実施している。また地区の小学生との交流会を毎年行い、ふれあいの時間として大切にしている。	戸外に出掛ける機会が多い。環境的に恵まれていることもあり、毎日の食材の買い物、近所の魚屋さんへも入居者と共に歩いて出かけ、馴染みの関係ができています。自治会に加入し班長さんが訪問されたり、職員は地域交流を意識して近隣の空き缶ひろいや公園の清掃を自主的に実施している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	初任者研修の見学や高校生の職場体験の受け入れを行い、施設を開放し理解を深めてもらう。また運営推進会議には自治会長や地域包括支援センターの職員さんにも出席してもらい、地域の中で情報を発信してもらう。	初任者研修の見学や高校生の職場体験の受け入れを行い、施設を開放し理解を深めてもらう。また運営推進会議には自治会長や地域包括支援センターの職員さんにも出席してもらい、地域の中で情報を発信してもらう。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施し、ホームの近況報告や行事の案内等を行っている。入居者やご家族から意見が出たときは、サービスに取り入れることで質の向上に活かしている。	2ヶ月に1回実施し、ホームの近況報告や行事の案内等を行っている。入居者やご家族から意見が出たときは、サービスに取り入れることで質の向上に活かしている。	運営推進会議は地域から自治会長、地域包括支援センター、家族、入居者、職員が集まり、定期的に開催し、ホームの状況報告を主に行っているが、入居者の参加が多数あり、地域の方や行政との交流の場ともなっている。家族からは行事に対する質問等がある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地)	自己評価／ユニットB(キララ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	中部広域連合や地域包括支援センターのおたっしゃ鍋島に出向いて、必要があれば連絡、連携を取りながら協力体制を築いている。	中部広域連合や地域包括支援センターのおたっしゃ鍋島に出向いて、必要があれば連絡、連携を取りながら協力体制を築いている。	中部広域連合(保険者)が主催する研修や、グループホーム協会の研修会に参加し、担当者との関係の構築に努めている。新規入居受け入れについての相談や、介護保険についての質問等、気軽に尋ねる事が出来る。行政から成年後見制度について、入居者に説明してもらう機会もあった。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	業務ミーティングで「身体拘束」について勉強会を毎年2回行い、絶対身体拘束をしないことをスタッフ一人ひとりに理解してもらう。	業務ミーティングで「身体拘束」について勉強会を毎年2回行い、絶対身体拘束をしないことをスタッフ一人ひとりに理解してもらう。	本部で身体拘束廃止マニュアルを作成し、それに基づき研修を実施している。又、外部研修受講後に報告会を行い全職員で共有している。言葉による拘束を含め、ホーム全体で拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社全体で虐待防止に努めており、業務ミーティングで毎年2回研修を行っている。	会社全体で虐待防止に努めており、業務ミーティングで毎年2回研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	業務ミーティングで介護職員として介護保険制度についての勉強会を実施し、その中で制度についての理解を深めてもらう。入居されている方も成年後見制度を利用している方もおられ、活用を考えてる方にも地域包括の職員さんを交え、制度の説明を行っている。	業務ミーティングで介護職員として介護保険制度についての勉強会を実施し、その中で制度についての理解を深めてもらう。入居されている方も成年後見制度を利用している方もおられ、活用を考えてる方にも地域包括の職員さんを交え、制度の説明を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご家族と契約書、重要事項説明書等の読み合わせを行い、不安や疑問を取り除いてから契約を締結している。	契約時にご家族と契約書、重要事項説明書等の読み合わせを行い、不安や疑問を取り除いてから契約を締結している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(キララ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や面会時に気軽に話して頂けるように取り組んでいる。またケアプラン作成時には要望を伺い、サービスへと繋げている。	運営推進会議や面会時に気軽に話して頂けるように取り組んでいる。またケアプラン作成時には要望を伺い、サービスへと繋げている。	家族の面会時には近況を報告すると共に、意見が言いやすい雰囲気配慮したり、計画作成時にはケアに対する意向を伺い反映させるなど、入居者と家族の意見を尊重することで関係を構築し、日頃から意見を聞くように努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者がスタッフと個人面談を行い、職員の意見や提案を聴くようにしている。また会議等でも職員の疑問や意見を聞くような機会を設けている。	管理者がスタッフと個人面談を行い、職員の意見や提案を聴くようにしている。また会議等でも職員の疑問や意見を聞くような機会を設けている。	管理者と職員は、日頃から意見や要望が言いやすい関係であり、管理日誌に申し送りや気づきを記入し、職員が共有している。毎月の会議では、入居者を代弁した意見や運営の質問があり、意見をサービス向上に向け反映させることも多い。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力や実績、勤務状況に応じてキャリアアップ制度を活用しており、賞与や賃金アップに繋がるようにしている。また資格習得に関しても手当として支給するシステムになっている。職員の勤務時間に関する要望に応じて、各職員のシフトを調整している。	職員の努力や実績、勤務状況に応じてキャリアアップ制度を活用しており、賞与や賃金アップに繋がるようにしている。また資格習得に関しても手当として支給するシステムになっている。職員の勤務時間に関する要望に応じて、各職員のシフトを調整している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者や計画作成担当者、介護リーダーを養成するテクニカル研修、管理者研修、実践者研修等、必要に応じて受講している。	管理者や計画作成担当者、介護リーダーを養成するテクニカル研修、管理者研修、実践者研修等、必要に応じて受講している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の高齢者施設や業者、医療機関との交流を図り情報交換や助言を受けたりしている。また協力医に講義を依頼し、職員や他事業所の職員、看護師と共に勉強会に参加してサービス向上へと繋げている。	地域の高齢者施設や業者、医療機関との交流を図り情報交換や助言を受けたりしている。また協力医に講義を依頼し、職員や他事業所の職員、看護師と共に勉強会に参加してサービス向上へと繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地)	自己評価／ユニットB(キララ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に事前訪問し、入居者の話や質問に傾聴し答えることで本人の不安を解消している。また事前にアセスメントを取り、職員の受け入れ体制を整えている。	入居前に事前訪問し、入居者の話や質問に傾聴し答えることで本人の不安を解消している。また事前にアセスメントを取り、職員の受け入れ体制を整えている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の事前訪問や見学会を通じ、入居にあたっての不安解消に努めている。またその際にも要望等はケアプランに反映させている。	入居前の事前訪問や見学会を通じ、入居にあたっての不安解消に努めている。またその際にも要望等はケアプランに反映させている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居にあたってご家族や入居者にとって何が必要なのか、身体状況を踏まえ必要なサービス提供に努めている。内科や精神科、整形外科等必要に応じて紹介を行い、サービス利用に繋げている。	入居にあたってご家族や入居者にとって何が必要なのか、身体状況を踏まえ必要なサービス提供に努めている。内科や精神科、整形外科等必要に応じて紹介を行い、サービス利用に繋げている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	大きな家族(ホーム)としての信頼関係を築き24時間入居者を支えていくことを理解してもらうとともに、自立支援の確立を目指し、入居者にも相互扶助の目標を持って頂く。	大きな家族(ホーム)としての信頼関係を築き24時間入居者を支えていくことを理解してもらうとともに、自立支援の確立を目指し、入居者にも相互扶助の目標を持って頂く。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者の体調を含め日常生活状況を面会時やケアプラン作成時に連絡しながら、入居者を共に支えていく信頼関係を築く。	入居者の体調を含め日常生活状況を面会時やケアプラン作成時に連絡しながら、入居者を共に支えていく信頼関係を築く。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前のアセスメントにより、大切にされていたものや好みを把握し、入居者には他の入居者との関係を良好に保てるように支援する。また、面会時や外出、電話を利用して今までの関係を保つようにしている。	入居前のアセスメントにより、大切にされていたものや好みを把握し、入居者には他の入居者との関係を良好に保てるように支援する。また、面会時や外出、電話を利用して今までの関係を保つようにしている。	アセスメントにセンター方式を使用し「暮らしの情報シート」「私の支援マップシート」「生活史シート」に家族や本人から聴取した情報が細やかに記載され、更新されている。馴染みの場所や行きたい所、馴染みの人や会いたい人を把握し、出来る限りの支援を実践している。墓参りなどの個別の外出は家族の協力を受けている。自身の携帯電話を所持されている方が3人おられ自由に電話されている。他の方は希望時に支援している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地)	自己評価／ユニットB(キララ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操やレクリエーションを通じて他の入居者との関わりを円滑に保つようになっている。また水分補給や入居者同士が気軽にリビングを共有できて会話ができるように支援している。	体操やレクリエーションを通じて他の入居者との関わりを円滑に保つようになっている。また水分補給や入居者同士が気軽にリビングを共有できて会話ができるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期の入院退去の契約終了の場合であっても退去時に相談があれば気軽に連絡できるように説明する。	長期の入院退去の契約終了の場合であっても退去時に相談があれば気軽に連絡できるように説明する。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	職員を担当制にし、入居者の意向や希望を吸い上げるようにしている。ご家族と連携して、できるだけ希望に添えるように支援している。	職員を担当制にし、入居者の意向や希望を吸い上げるようにしている。ご家族と連携して、できるだけ希望に添えるように支援している。	一日の中でも、就寝前や早朝、昼食後等はゆっくりしているので、職員が入居者と居室で話す事ができている。アセスメント様式「気持ちシート」に、嬉しい事や楽しい事を記入するようになっており本人の話される言葉が細やかに記入されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご家族や本人から色々と話を伺い、情報を共有し支援を行っている。また生活の中でコミュニケーションを図りながらニーズを引き出している。	入居前にご家族や本人から色々と話を伺い、情報を共有し支援を行っている。また生活の中でコミュニケーションを図りながらニーズを引き出している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居前にあった生活のリズムを把握し、身体状況に応じた生活を送れるように支援している。	入居前にあった生活のリズムを把握し、身体状況に応じた生活を送れるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地)	自己評価／ユニットB(キララ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスの中で日々の状況や身体状況を把握し、またご家族の意見を取り入れながら介護計画に反映させていく。	カンファレンスの中で日々の状況や身体状況を把握し、またご家族の意見を取り入れながら介護計画に反映させていく。	計画作成時に参加できない家族からは、事前に意向や希望を聞き取り、計画に反映させている。アセスメント「本人の気持ちシート」にはうれしいこと、楽しいことが細やかに記入され本人の気持ちに添った介護計画作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録により体調の変化や食事量、睡眠、排泄回数、水分摂取量まで把握し体調管理に利用している。また、それに基づいて介護計画にも反映させている。	個別の介護記録により体調の変化や食事量、睡眠、排泄回数、水分摂取量まで把握し体調管理に利用している。また、それに基づいて介護計画にも反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族、本人の意向を優先し、様々な意向があるときでもできるだけ尊重しながら対応している。	ご家族、本人の意向を優先し、様々な意向があるときでもできるだけ尊重しながら対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練の際の消防署からの指導や、自治会長さんからの地域での話しを傾聴しながら、地域資源を利用し安全で豊かな暮らしをサポートしている。	避難訓練の際の消防署からの指導や、自治会長さんからの地域での話しを傾聴しながら、地域資源を利用し安全で豊かな暮らしをサポートしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的に入居時にご家族と話し合い、かかりつけの病院を希望される方は受診の援助を行っている。また、協力病院は往診や緊急対応を引き受けて頂いている。	基本的に入居時にご家族と話し合い、かかりつけの病院を希望される方は受診の援助を行っている。また、協力病院は往診や緊急対応を引き受けて頂いている。	本人や家族が希望する医療機関への受診を支援している。受診時は家族の付き添いを基本としているが、無理な場合には職員が同行し、病院への情報提供を行い、連携を図っている。協力医療機関へは24時間連絡ができ、夜間も往診に来てもらえることがかかりつけ医から協力病院へ変更される方もある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地)	自己評価／ユニットB(キララ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日2回のバイタル測定を実施し、医療機関や訪問看護との連携を行い、適切な対応を行っている。	毎日2回のバイタル測定を実施し、医療機関や訪問看護との連携を行い、適切な対応を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はスタッフが準備、付き添いを行い、病院に情報提供をしている。また退院時もスタッフが対応し、退院後の支援が円滑に行えるように努めている。	入院時はスタッフが準備、付き添いを行い、病院に情報提供をしている。また退院時もスタッフが対応し、退院後の支援が円滑に行えるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族の意向を取り入れながら医療機関や訪問看護と連携を図り、ホームの中で生活が継続できるように支援を行っている。また介護計画にも反映している。	ご家族の意向を取り入れながら医療機関や訪問看護と連携を図り、ホームの中で生活が継続できるように支援を行っている。また介護計画にも反映している。	重度化した場合や終末期の看取りについての指針を作成し、入居時に説明、同意を得ている。状況の変化に応じ、関係者で話し合い、医師の説明を受け、今年度は3名の看取りを経験した。緊急時には訪問看護師や医師へ連絡が取れ、住診も依頼できるので心強い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時や急変時に備えマニュアルを作成し、入居者の異常があったときには迅速に対応できるように努めている。また業務ミーティングの中でも勉強会を設けて各職員が対応できるように努めている。	緊急時や急変時に備えマニュアルを作成し、入居者の異常があったときには迅速に対応できるように努めている。また業務ミーティングの中でも勉強会を設けて各職員が対応できるように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年2回実施している。また避難場所の確保や非常食、水など災害時の準備をしている。自治会長とも災害時の対応など話し合っている。	避難訓練を年2回実施している。また避難場所の確保や非常食、水など災害時の準備をしている。自治会長とも災害時の対応など話し合っている。	定期的に消防署の指導を受け、災害時の避難訓練を実施している。運営推進会議でも訓練時の課題検討などがなされ、自治会長の協力も得ている。また、災害の発生時に備え、食料や飲料水の準備も整っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(キララ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者一人ひとりに合ったケアを行い、尊厳と人格を守りつつ、全員個別対応しプライベートの確保と安全を提供する。	入居者一人ひとりに合ったケアを行い、尊厳と人格を守りつつ、全員個別対応しプライベートの確保と安全を提供する。	接遇マナーや個人情報保護に関する内外の研修を受け、職員は利用者の人格を尊重した関わりに努めている。職員は県の認知症介護研修に参加し、「利用者本位」のケアを共有し、職員育成に繋げている。理念である「入居者が笑顔で暮らせるように」については優しい笑顔での関わりが窺える。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が入居者と接しながら、ニーズを引き出し、入居者の意見を聞きながら自己決定できるように支援する。	職員が入居者と接しながら、ニーズを引き出し、入居者の意見を聞きながら自己決定できるように支援する。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務の流れと入居者の希望を融合させながら希望の沿うようにする。	業務の流れと入居者の希望を融合させながら希望の沿うようにする。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整容、髭剃り、化粧、服装など入居者の自己決定と職員の支援で毎日の清潔を確保している。	整容、髭剃り、化粧、服装など入居者の自己決定と職員の支援で毎日の清潔を確保している。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の嗜好や、希望、季節のもの等を取り入れながら食を楽しんでもらう。また配膳や、食器拭きなど入居者にも協力して頂き、日常生活を主体的に暮らせるように支援している。	入居者の嗜好や、希望、季節のもの等を取り入れながら食を楽しんでもらう。また配膳や、食器拭きなど入居者にも協力して頂き、日常生活を主体的に暮らせるように支援している。	ニチイ学館本部からメニューが届いているが、入居者の好みや希望に応じ、臨機応変に献立を変更している。毎日近くのスーパーに買い物に行き、米とぎや配膳等一緒に手伝ってもらい、食事が楽しみとなるように支援している。近所の店で外食することも楽しみの一つである。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地)	自己評価／ユニットB(キララ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量や、毎日の水分摂取量をチェックして、必要に応じて刻み食やミキサー食の形態で提供したり、ゼリー状にして水分補給をしたりしている。	毎日の食事摂取量や、毎日の水分摂取量をチェックして、必要に応じて刻み食やミキサー食の形態で提供したり、ゼリー状にして水分補給をしたりしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	全員、毎食後の口腔ケアを行い、入居者の能力に応じ、支援を行っている。また定期的に歯科往診を行える体制をとっている。	全員、毎食後の口腔ケアを行い、入居者の能力に応じ、支援を行っている。また定期的に歯科往診を行える体制をとっている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄、排便の有無や回数をチェックして健康管理をしている。また排泄時の支援も一人ひとりに合わせた支援を実施している。	排泄、排便の有無や回数をチェックして健康管理をしている。また排泄時の支援も一人ひとりに合わせた支援を実施している。	入居者個別のチェック表により、トイレへ誘導し自立支援に努めている。夜間は居室にポータブルトイレを設置し、ふたに鈴をつけ、鈴の音で職員が駆け付けられるよう安全面での配慮もしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給の機会の確保と適度な運動で便秘を予防している。また業務ミーティングで勉強会を行い、職員全員が便秘を及ぼす原因を理解し、適切な対応をとれるように努めている。	水分補給の機会の確保と適度な運動で便秘を予防している。また業務ミーティングで勉強会を行い、職員全員が便秘を及ぼす原因を理解し、適切な対応をとれるように努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者の希望に添い、入浴回数や時間を支援する。夏場に毎日入りたい人は夜間のシャワー浴を実施する。	入居者の希望に添い、入浴回数や時間を支援する。夏場に毎日入りたい人は夜間のシャワー浴を実施する。	入浴は、週3回を基本としているが、夏場は毎日でもシャワー浴をされている方もおられ、それぞれの希望に応じ臨機応変に対応している。重度の方はシャワー浴になるが、足浴をしながら体が冷えないよう配慮している。入浴を嫌がられる方に対しては、同性介護にしたり、誘導を工夫しながら支援している。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地)	自己評価／ユニットB(キララ)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者に応じて就寝時間を対応。寝付けない人はリビングで水分補給をして頂いたり、職員と話をして落ち着いてから就寝して頂く。	入居者に応じて就寝時間を対応。寝付けない人はリビングで水分補給をして頂いたり、職員と話をして落ち着いてから就寝して頂く。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	会社全体で誤薬に対する取り組みを実施している。毎回複数の職員で薬のセットから飲み込み確認等の支援を行っている。	会社全体で誤薬に対する取り組みを実施している。毎回複数の職員で薬のセットから飲み込み確認等の支援を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の能力に応じて趣味や特技を活かしてもらうように支援している。また買い物や散歩等も入居者と一緒に行っている。	入居者の能力に応じて趣味や特技を活かしてもらうように支援している。また買い物や散歩等も入居者と一緒に行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物や散歩など日常生活の中で外出の機会を設けている。また個人の希望があるときは、家族と連携し本人の希望に添えるようにしている。	買い物や散歩など日常生活の中で外出の機会を設けている。また個人の希望があるときは、家族と連携し本人の希望に添えるようにしている。	近隣の公園へ散歩に出かけたり、食材の買い物や、個々の希望による洋服や化粧品を購入するため徒歩で出かけることが多く、地域交流の機会ともなっている。その他、ドライブや外食の希望により、年間計画を立て実施している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理ができる方は個人で管理されているが、理容費、医療費などの支払いはお小遣い管理を事務所でやっている。時には買い物に職員と一緒にいき、支払いをしてもらっている。	金銭管理ができる方は個人で管理されているが、理容費、医療費などの支払いはお小遣い管理を事務所でやっている。時には買い物に職員と一緒にいき、支払いをしてもらっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙は本人が書かれたものは基本的に投函している。また要望に応じて職員が代筆の支援を行っている。電話の要望があればリビングにある電話を使用してもらっている。	手紙は本人が書かれたものは基本的に投函している。また要望に応じて職員が代筆の支援を行っている。電話の要望があればリビングにある電話を使用してもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(大地) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(キララ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	室内を明るくし、毎日の共有空間は整理整頓と消毒を行い、衛生に気を付けている。また、入居者の作品や行事の写真等を掲示し楽しんでもらっている。	室内を明るくし、毎日の共有空間は整理整頓と消毒を行い、衛生に気を付けている。また、入居者の作品や行事の写真等を掲示し楽しんでもらっている。	リビングは広くゆったりとして明るい。対面型のキッチンからは食事を作る匂いがし、ソファやテーブルも家庭的な物である。入居者の作品や、行事の飾りつけが季節感を出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて職員や入居者同士が気軽に話をしたり、お茶を飲みながら気軽に利用できる場所として提供している。嗜好、趣味に合った話題を提供し、交友が円滑に行えるようにしている。	リビングにて職員や入居者同士が気軽に話をしたり、お茶を飲みながら気軽に利用できる場所として提供している。嗜好、趣味に合った話題を提供し、交友が円滑に行えるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は入居者とご家族が相談し、使い慣れたものや、思い入れのある品を飾っていただき、その人らしさ、個性を大事にして居室内を快適に過ごして頂く。	居室内は入居者とご家族が相談し、使い慣れたものや、思い入れのある品を飾っていただき、その人らしさ、個性を大事にして居室内を快適に過ごして頂く。	入居者が使い慣れたベットや馴染みの家具を持参していただいております。それぞれの居室は個性豊かである。自宅に置いていた位牌や過去帳を祀り、手を合わせる習慣を大事にしている方、居室の冷蔵庫に嗜好品を入れたり、絨毯やテーブル、趣味の飾りつけのサイドボード等、まさに自分らしさを感じられる空間となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関はスロープを設置し、ホーム内は段差がないバリアフリーになっている。また廊下や浴室、トイレにも手すりを設置し、入居者の自立支援を援助している。	玄関はスロープを設置し、ホーム内は段差がないバリアフリーになっている。また廊下や浴室、トイレにも手すりを設置し、入居者の自立支援を援助している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない